

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成11年3月29日

第52報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	300		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	40		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	80		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	120		
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima</i>	40		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	540		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	60		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	80		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	80		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(渦) <i>Peridinium penardiforme</i>	40		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	180		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	500		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	420	19.6	20.0
(珪) 珪藻綱	960	44.9	38.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	40	1.9	3.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	680	31.8	36.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	40	1.9	2.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2140	総体積	1.08E+06
種類数	15	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第1優占種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Stokesia</i> sp.	180

第2優占種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Synchaeta oblonga</i>	60

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

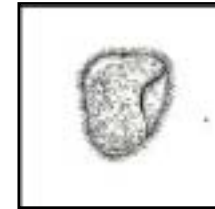
植物プランクトン第1優占種



Cyclotella glomerata
(ヒメマルケイソウ)
珪藻綱

細胞は、横から見ると長方形に見えるが、真上から見ると円形に見える。その直径は4~10 μm と小さい。多数が鎖状に結合して群体をなす。

動物プランクトン第1優占種



***Stokesia* sp.**
(ストケシア)
繊毛虫類

個体の腹側は平らであり、密に繊毛が生えている。体の周縁部に比較的長い繊毛を持っている。繊毛虫の仲間では、大型の種類である(個体の長さ100~200 μm)。南湖において春季に観察されている。

コメント:植物プランクトンは、引き続き珪藻のヒメマルケイソウが最も多く、次いで褐色鞭毛藻のロードモナスが多かった。動物プランクトンは、繊毛虫類のストケシアが180個体/lと最も多く、次いで同じ繊毛虫類のナガマルドロワムシが60個体/l見られた。